

決算に対する討論の概要

令和元年度決算（一般会計、3特別会計および公共下水道事業）に対し、6名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は円）

会 計 名	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一 般 会 計	46,824,789,292	7.5%	45,486,863,974	7.9%	1,337,925,318
特 別 会 計	22,373,994,576	14.0%	21,507,721,853	10.1%	866,272,723
国民健康保険事業	12,173,956,967	△ 1.4%	12,124,242,302	△ 1.0%	49,714,665
介護保険事業	8,485,344,339	9.4%	7,711,837,966	5.8%	773,506,373
後期高齢者医療事業	1,714,693,270	6.0%	1,671,641,585	5.3%	43,051,685
企 業 会 計	4,075,984,218	△ 8.6%	4,683,991,866	△ 4.5%	△ 608,007,648
公共下水道事業					
合 計	73,274,768,086	12.9%	71,678,577,693	13.5%	1,596,190,393

政進会

賛成

○全会計の決算に賛成

▽過去最大の市税収入は、将来の税収増につなげるために市が推進してきた施策の実りを実感するものです。▽経常収支比率は、市税などの経常的な収入増の一方で、扶助費などの経常的な支出増により、前年度比1・3割増の93・9%と依然高水準ですので、事業の効率化や見直しは不可欠です。▽市債の市民一人当たりの残高は、政令市を除く県内16市の中で最少を堅持する見込みとのこと。借金である市債は慎重な取り扱いを求めますが、新型コロナウイルス感染症の打撃により、今後の財源確保は困難が予測され、難局を乗り越えるには選ばざるを得ない手段だと認識します。▽台風の影響で災害復旧費が伸びました。しかし、自助・共助・公助の連携で最小限の被害で収まったことは、市の危機管理能力の高さを示すものでした。▽鉄道で分断された地域に向けた消防力を強化する（仮称）消防署西分署の整備は、その後に続くマンシヨンの建設計画などを鑑みると改めて必要な事業でした。▽南部地区での駅などを結ぶ実証運行は、交通弱者への移動支援策としての発展を期待します。▽海老名駅の北口改札設置を含む整備については、出口名称の工夫などで相模国分寺跡との連続性を持たせるなど、供用開始に向けて着実に進めてください。▽モバイルレジ・クレジットサービスの導入により市民サービスが向上したことも、高く評価します。



（仮称）消防署西分署完成イメージ図

公明党

賛成

○全会計の決算に賛成

▽歳入では、海老名駅西口土地区画整理事業の完成に象徴されるにぎわい創出のための積極的なまちづくりへの投資

が実を結び、個人市民税、固定資産税ともに着実な増加をみせ、過去最大となりました。▽持続的な都市経営に対する健全性を表すとともに、人口増に対する新たな取り組みの余地も考えられる状況と捉えます。▽歳出では、今後の都市基盤整備に向けた厚木駅南地区市街地再開発の推進、相鉄海老名駅駅舎および北口駅前広場の整備、消費税増税による打撃を受けた市内経済活性化に向けたプレミアム付商品券の発行、若者定住促進事業の継続など、活力ある将来に向けた政策を実行しました。▽（仮称）消防署西分署の整備や40m級はしご車の更新、大型エアータントの導入など、防災対策の充実が図られました。▽資源化センターの大規模改修工事、家庭系ごみの一部有料化および戸別収集導入によるごみ減量化の推進を実行し、将来的な課題であるごみ行政についても具体的な対策が打たれました。▽小中学校の修学旅行補助、親と子の相談支援事業の創設や子ども健康管理情報の一元化など、未来を担う子どもたちを育てる支援策も充実されました。▽将来を見据えた多くの事業に取り組まれ、今後の本市の発展と市民生活の更なる充実に向けた施策の展開について評価するとともに、迅速に課題に対処されたことも高く評価します。



大型エアータント

志政会

賛成

○全会計の決算に賛成

▽市税収入や国県支出金が増額し、普通建設事業費の国庫補助金なども積極的に獲得している姿勢がよく見て取れます。ふるさと納税も約1億8千万円と初めてのプラスとなり、今後もさまざまな財源の確保の検討を望みます。▽歳出では市民一人当たりの義務的経費が、県内で一番低い金額になっていますが、今後伸びることが想定されるので、注意が必要と考えます。▽オーラルフレイル事業は、さらに一歩進んだ海老名市版オーラルフレイル事業が普及した

※4面に続きます。